

2026 年 7 月 1 日

社内副業制度の導入について

めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行（頭取 秋野 哲也）と足利銀行（頭取 清水 和幸）は、第 4 次グループ中期経営計画の基本戦略に基づき、「人的資本／DE&I 推進の強化」の一環として、「社内副業制度」を導入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本制度は、従業員が所属部店で通常業務を行いながら、週 1 日程度、他部署の別の業務に従事できる仕組みであり、従業員の自律的なキャリア形成の支援やスキル向上、働きがいの向上に加え、さまざまな経験の蓄積を通じて多様性を高めることで、組織力の向上を目的に実施するものです。

めぶきフィナンシャルグループは、今後とも、従業員一人ひとりが能力を最大限に発揮できるよう、挑戦を後押しする風土の醸成に努めるとともに、働きやすく魅力のある職場環境づくりに積極的に取り組んでまいります。

記

1. 社内副業制度の概要

対 象 者	常陽銀行・足利銀行の従業員（営業店・本部など）
目 的	・従業員の自律的なキャリア形成の促進 ・従業員のスキル向上および働きがいの向上 ・多様性の促進による組織パフォーマンスの向上
制度内容	従業員が所属部店で通常業務を継続しながら、通常業務とは異なる業務にも従事できる制度。各部署・プロジェクトごとに求める人材要件を定め、副業人材を公募のうえ選定します。選定された従業員は、一定期間、副業先のプロジェクトや業務に参画します。
主な 対象業務	【常陽銀行】D X企画、デジタルマーケティング、 ダイバーシティ推進企画 など 【足利銀行】アプリ利用促進施策の企画、D X関連データ利活用業務、 事務効率化企画、預かり資産推進企画 など

2. 実施日

2026 年 7 月 1 日（水）

以 上